

令和2年度補助金評価表（令和元年度交付分）

事務事業名	バリアフリー化設備整備事業補助金		
担当所属	都市計画課	連絡先	092-332-2077

【事務事業基本情報】

区分	②奨励・支援的事業補助		
該当規程	糸島市交通施設バリアフリー化設備整備費補助金交付規程		
基本目標	基本目標4 __快適に暮らすことができる安全・安心のまちづくり		
	政策	政策3 __交通環境の整備充実	
	施策	施策⑥ __便利で効率的、安全・安心な公共交通の充実を図る	
補助期間	令和2年度	まで	

【事業概要・指標】

事業概要	成果指標
<p>【目的】</p> <p>市内において鉄道事業者が行う駅における交通施設バリアフリー化設備整備事業に対し、補助金を交付することで、公共交通機関における高齢者や障害者等の移動に係る安全性や利便性の向上の促進等を図るため。</p> <p>※H30～R2年度は、九州旅客鉄道(株)が筑前原原駅、糸島高校前駅、波多江駅ホームのバリアフリー化を促進するために行う転落防止設備である「可動式ホーム柵」設置事業に対し、補助金を交付する予定。</p> <p>【対象事業】</p> <p>交通施設バリアフリー化設備整備事業 (段差解消のための昇降機、転落防止設備、誘導用ブロックの整備等)</p> <p>【対象者】</p> <p>鉄道事業者(九州旅客鉄道(株))</p>	<p>① JR筑肥線複線化区間の市内鉄道駅における転落事故件数(H23以降の確認分)</p>

【改革案】

今後の実施方向性	現状維持
----------	------

【指標の推移】

	単位	H31年度実績	目標値
成果指標	① 件	3	0

【投入コスト・人員】

年度	単位	令和元年度決算	令和2年度予算
トータルコスト	円	74,765,000	118,519,000

【環境変化等】

<p>開始時の周辺環境・課題</p> <p>JR筑肥線と相互乗り入れしている福岡市営地下鉄の全駅には可動式ホーム柵は設置済みであるが、下山門駅以西の筑肥線駅には設置されていない。そのため利用者の安全性等の確保が遅れている状況である。</p>
<p>現状の周辺環境・課題</p> <p>筑前原原駅、糸島高校前駅、波多江駅の利用者の安全性向上に向け、可動式ホーム柵の設置が進められている。</p>
<p>今後の予想される周辺環境・課題</p> <p>事業完了後は、JR筑肥線複線化区間の3駅における転落事故を無くすことができ、利用者の安全・安心の増進に寄与できる。</p>
<p>市民及び議会等の意向・ニーズの変化等</p> <p>3駅利用者の安全・安心に対する期待度は上がっていると思われる。</p>